

アイドルオタクのコミュニティ形成に関する研究

船田樹

近年、「推し活」や「オタ活」といった言葉が広まり、アイドルのみならず、俳優、スポーツ選手、声優、漫画やアニメーション、ゲームキャラクターなど、多岐にわたる対象に対して行われる応援活動として定着している。本研究では、推しをめぐる先行研究をオタク文化、推しの定義、心理的観点から整理し、特にアイドルオタクのコミュニティ形成に焦点を当てた。オタクコミュニティは、共通の趣味を持つことから始まり、その後、オタクという特定のコミュニティへと発展していった点に注目した。オタクは単なる趣味の集まりではなく、強い絆を持った人々の集団として存在している。オタクコミュニティに関するアンケートとオタク 4 人へのインタビューを行い調査した。オタクコミュニティが形成される理由としては、共通の趣味を持つことで、他の場所では得られない仲間とのつながりや、深い精神的な結びつきを感じられる点が挙げられた。これらの理由から、オタクコミュニティはその独自性を持ちながらも、深い信頼と規律の中で成長し、形成されてきたと考えた。

本研究の結果、まず、小規模なコミュニティでは、オタク特有の共通価値観が重要な役割を果たし、その価値観に共感するメンバー同士で強い結びつきが形成されることが分かった。一方、大規模なコミュニティでは、運営側が規範を設定するため、オタク特有の価値観はあまり重要ではなく、比較的結びつきが弱いコミュニティが形成される傾向が見られた。

また、コミュニティ形成には、メンバーの経験が大きく影響することが分かった。特に本研究で調査対象とした若年層は、友人関係の築き方に特徴があり、その影響がコミュニティの性質に反映されていると考察された。

本研究の社会的意義は、アイドルオタクのコミュニティ形成の実態を明らかにすることによって、他のコミュニティにおける人間関係の形成に生かせる知見を提供する点にある。今後の課題としては、アンケートの男女比の偏りやインタビュー項目の不明瞭さが挙げられ、これらは改善の余地がある。また、若年層特有のコミュニティ形成方法について、さらに研究を進めることで、より深い理解を得ることができると考えている。